

【学校教育目標】 豊かな心を持ち、夢の実現に向かって自律的に活動する久里の子の育成

～ 元気・笑顔・思いやりがあふれる学校 ～



久里の子

唐津市立久里小学校

学校便り No.8

令和6年 9月26日

文責： 宮本 克一

前期「あゆみ」を10・4に配布します！



4月6日に始まった令和6年度も1年間の折り返し地点まで来ることができました。その間、保護者の皆様には様々な学校の取組にご理解とご協力をいただいていることに心より感謝申し上げます。さて、久里小は「あゆみ」2学期制を実施しています。年間2回のあゆみの発行のその1回目が10月4日（金）です。

「あゆみ」をもらうと成績が上がったか下がったか、◎や○の数が何個あったかとかが気になるものですね。しかし、それだけを見るのではなく、◎のところは

どんな努力が良かったのか、△のところはどうして△なのかを考える機会にしていきたいと思います。前期の学習で理解できていなかった内容や覚えていなかったことを確認し今の学年のうちに復習したり補ったりしてもらいたいと思います。学年の発達段階に応じて取り組み方には違いがあると思いますが、一度に全ての課題を克服することを目標にするのではなく、一つずつこつこつと克服できるように頑張してほしいと思います。それには、保護者の声かけ、励まし、賞賛が不可欠です。子どもの前期の頑張りを「大きく・大げさ」に誉めてあげることも必要かもしれません。後日配布される「あゆみ」を食卓での話題の一つにしてください。必ず、子どもを褒めてくださいね！お願いします。



【1年生 鍵盤ハーモニカの学習】



【タブレットを上手に使いこなす1年生】



【暑いけど長縄跳びを頑張る4年生】

【ちょっと一息・・・】

ビル・ゲイツ（Microsoft社の創業者の一人）、スティーブ・ジョブス（Apple社の創業者の一人・iPhoneを作っている会社）、名前は知らなくても、2人が創ったパソコン、タブレット、スマホ等には日々お世話になっています。IT業界では神様のような2人には次のような逸話が残っています。ビル・ゲイツは、自分の子どもには14歳になるまでスマホを持たせなかった。スティーブ・ジョブスは、自分の子どものiPad使用時間を厳しく制限した。パソコン、タブレット、スマホの開発責任者が、なぜ、自分の子どもには持たせなかったり、厳しい制限をかけたりしたのか。視力障害、睡眠障害、脳疲労、ゲーム依存などの健康被害（ゲーム依存症）とスマホやタブレットの使用が関係があることをビル・ゲイツとスティーブ・ジョブスは知っていたと言われています。また、3歳児検診に来るお母さんと子ども。3歳の子どもがスマホを上手に操作して画面を見ている。その横でお母さんは……。専門家に言わせると『スマホは、子守りはできるが、子育てはできない』そうです。買い与えた者の責任としてお子様のスマホの使い過ぎ、またそれにまつわる様々なトラブルには十分注意してください。



ヘルメットで守ろう！ 子どもの命

右の表は久里小の児童の「ヘルメットを持っている児童の割合」です。(持っていることと、常時着用していることは違いますが…)

法律で努力義務となり、数年がたちました。全体的な所有率や着用率は向上したように感じますが、まだまだ100%には程遠いという印象です。

警察庁のデータによると、自転車事故時にヘルメットを着用していた人に比べて、未着用の人は致死率が約2.2倍高くなる

ことが示されています。また、自転車死亡事故の約7割が頭部に致命傷を負っていることが判明しています。このようなことから、自転車に乗るときはヘルメットの着用をぜひお薦めします。ある通販サイトをのぞいて見たところ、子ども用ヘルメットは、2000円前後から販売してありました。1回の外食？よりも安くて、命を守る可能性が高くなる…さて、親としてどちらを選びますか？

学 年	ヘルメット所有の割合
1 年	43%
2 年	66%
3 年	60%
4 年	50%
5 年	33%
6 年	20%



「学校全体で取り組むポジティブ行動支援」(SWPBS) Vol.5

⇒ポジティブな行動支援を続けると…

教師や親が望ましい言動や行動を見つけ、しっかりほめる。(認める。) 正しい行動を教える。

教師や親は指導の仕方がわかる。もっといいところを見つけようとする

プラスの
サイクル

子どもは自分に自信がもてる。
どうすればいいかわかる。

子どもが前向きで、
意欲的になる。

自己肯定感UP

達成感UP

【自己肯定感の高い子どもの傾向として…】

1. 失敗を恐れない。結果よりも過程を重視し、目標達成のために努力できる。
2. 自信を持ち、自分に対する信頼がある。
3. 他人のせいにならず、自分ができていることを考える。
4. どんな出来事も前向きに解釈する。(ポジティブな思考)
5. 他人を尊重し、大切にする。

人生がより
幸せになる